



修道騎士セシリア

丸呑み
魔力注入

500年前に
封印された魔王

インビジブル…

インビジブル
復活を目論み
暗躍する魔族たちは

勇者の末裔
アリアを
利用して

インビジブルの魂を
復活させる事に
成功する



アリアの姉

リーベ修道騎士団
修道騎士セシリアは

連れ去られた
最愛の妹を
助けるため

教団の制止も聞かず
単身で魔王のアジトへと
乗り込んだ



しかし…



くはは

最高だ

あの魔族殺しと
恐れられた
女騎士が

チンポ
突っ込まれて
よがってやがる

魔王様に
敗れて

毎日オークに
チンポぶち
込まれて

いいザマだな
セシリア



ズ
ズ
ズ

イクぞ

出すぞ
出すぞ



今日も子種袋が
空っぽになるまで
中出ししまくって
やるから

しっかり
その子宮で
受け止めるよ

やめろ…

中はもう

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

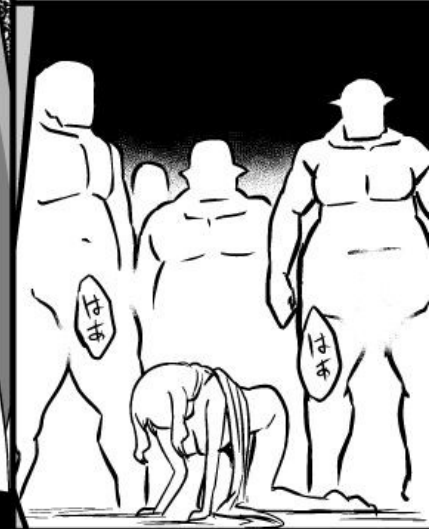
そおおorraッ
10発目ーッ

あ
あ
あ

はッ

はッ





そろそろ
私たちに従う気にな
りましたか？

どうですか
お姉さま

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



私は貴様らのような
汚らわしい魔族に
下る気はない

何度
聞かれようが
答えは同じだ



ふふ

はあ

はあ



さすが
修道騎士

魔族殺しの
セシリア
お姉さま

そうでなければ
鬨り甲斐がない



強く気高く
美しいお姉さまが
魔物に犯されて

淫らに悶え
泣き叫ぶのが
楽しみだわ



くくく

ツツ

それじゃあ
凌辱パーティの
続きと行こうか
セシリア



侵されたくて
仕方ないんじゃない
ねえか

いやいや本当は
俺たちのチンポで



くくく素直に
従えば侵されずに
済むのによお

まったく
強情な女だ

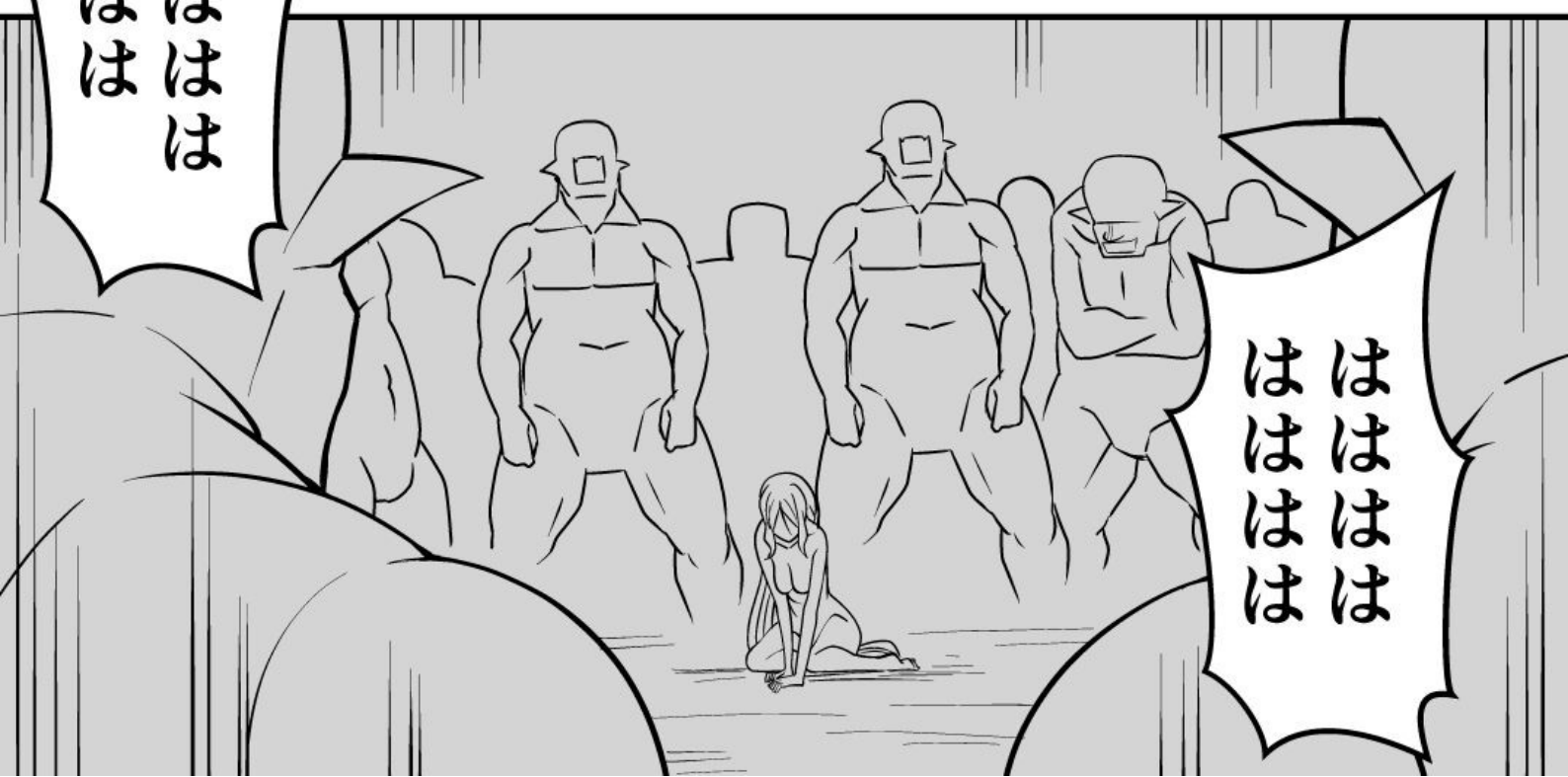


あはははは
はははは



望み通り
存分に俺たちが
侵してやるよ

だとしたら
とんだメス豚
だな



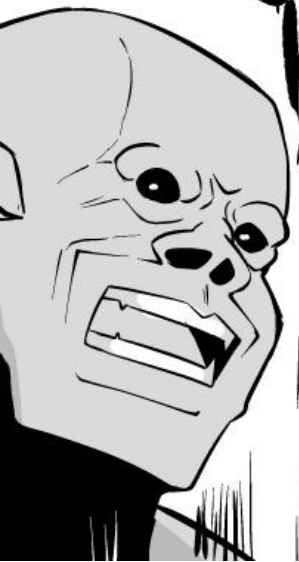
はははは
はははは

ここだ

ぐがあッ

なッ

何だ



驕り

油断

慢心

貴様らの警戒が
緩むこの瞬間を
待っていた

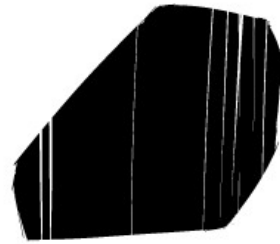
こいつッ
まだ

薙ぎ払え

ホーリー

セイバー

があああ





はあ

はあ

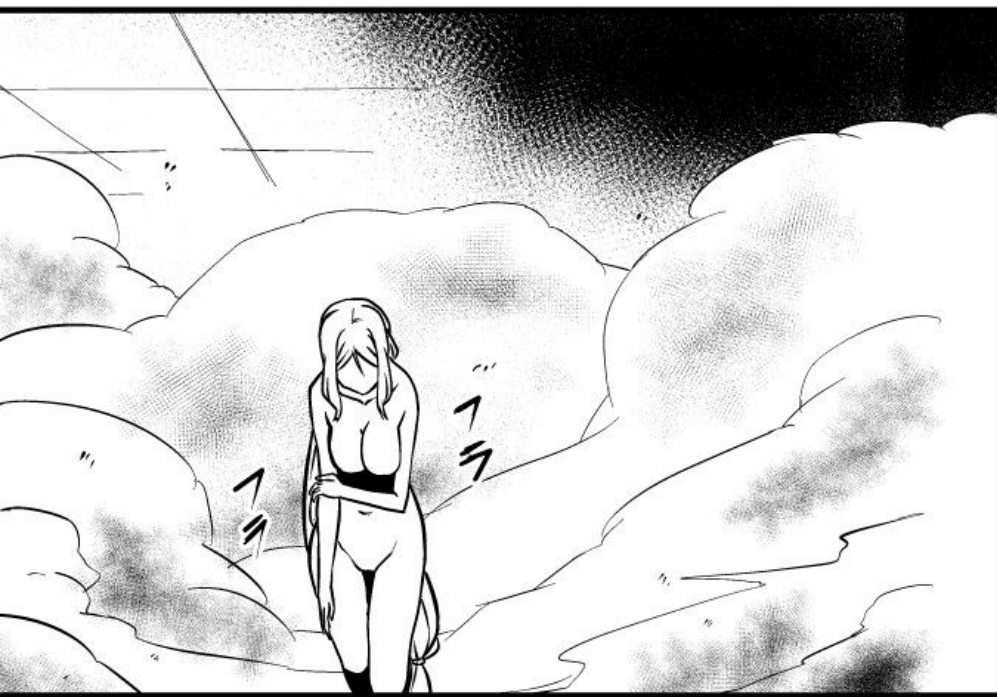


はあ

はあ

ズキ

ズキ



ズキ

ズキ



!!

そんな身体で
どこへ行くん
ですか？



そんな…

バカな…

私の
渾身の
一撃が…



さすがセシリア
お姉さま

見事な
一撃でした



ふふふ

お姉さまの
考えなんて最初から
お見通しです



お姉さまが
全魔力を
使い切るのを

だから私は
待っていたんです

光の魔力を
消耗し切った
その身体は

闇の
魔力浸食への
耐性は皆無

乗せられた…

無防備
丸裸同然

ここからは
この私自ら

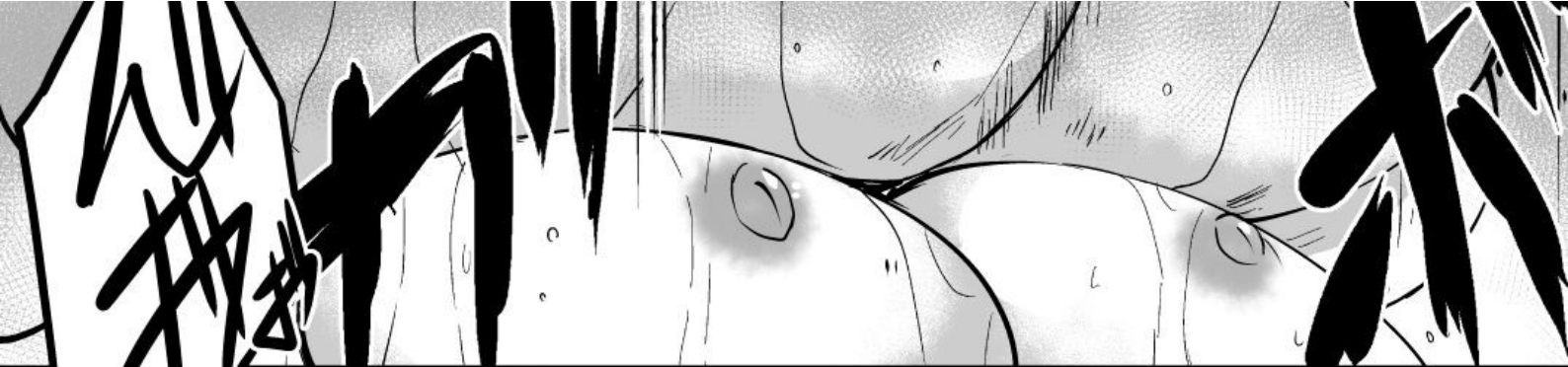
お姉さまを
侵して汚して
凌辱して

闇の底へと
導いて差し
上げます

この私の

腹
の
中
で





たまるかッ

!!

なッ…
そんなッ

まだこんな
魔力が

その巨体…内側から
吹き飛ばしてやる
私を侮った事を
後悔しろ

待って
いやッ
いやッ

なんてね





力が抜けていく...

お前...
まさか...
私の魔力を

その通り



あははははは

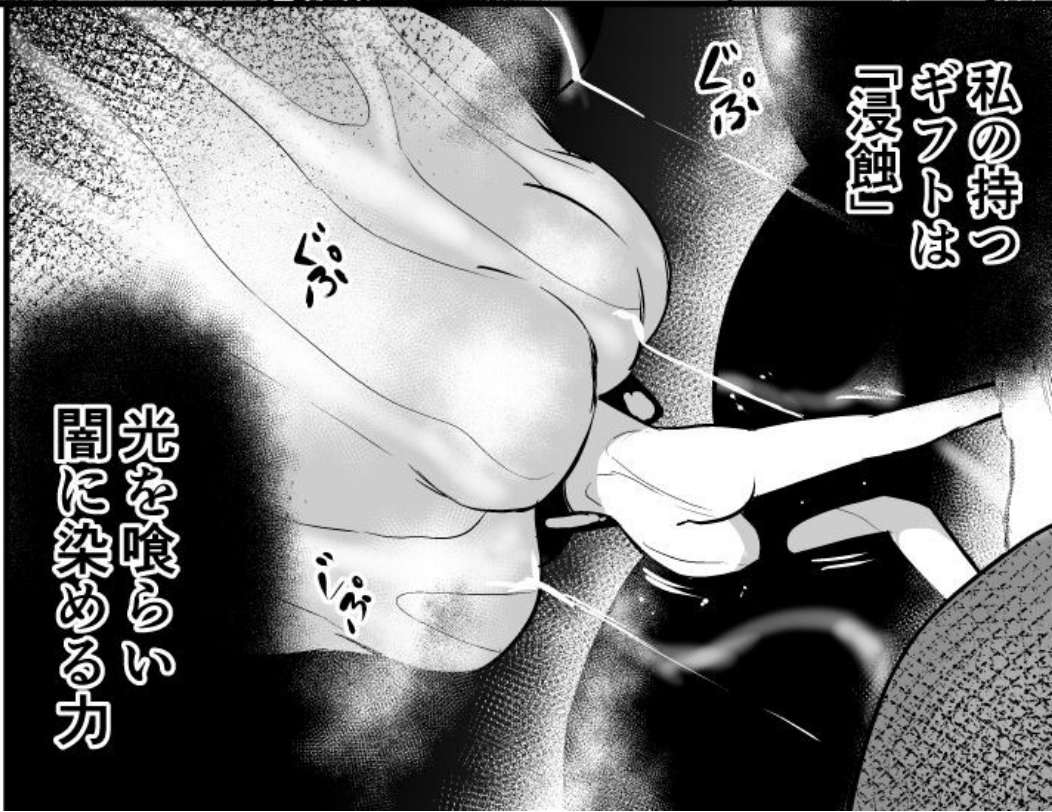
お姉さまの
魔力とくっついても
おいしー

さすが
教団自慢の
女騎士



そんな...
力が...

お姉さまの魔力も
一滴残らず
しゃぶり
尽くしてあげる



私の持つ
ギフトは
「浸蝕」

光を喰らい
闇に染める力

力が：
入らない：

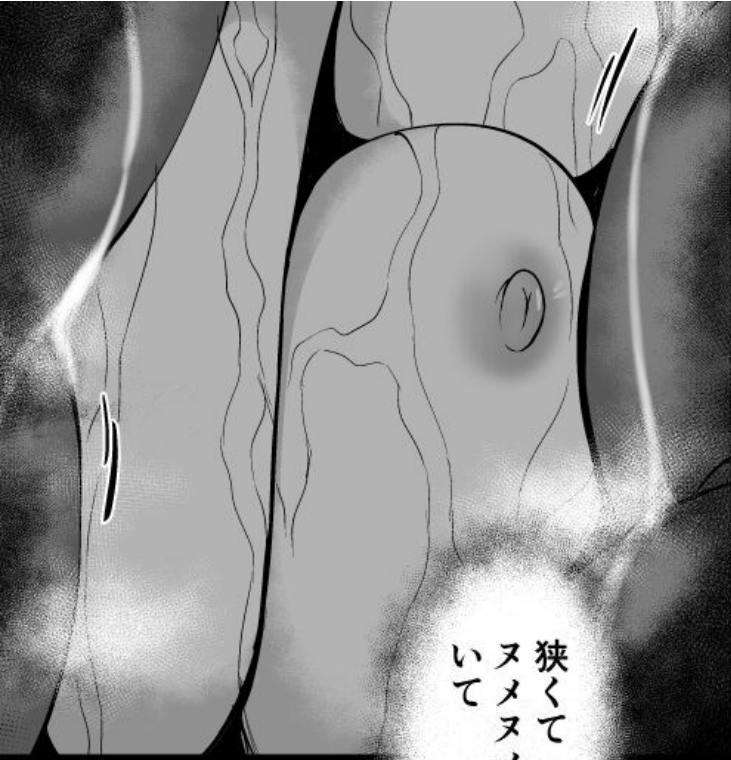
カク

カク

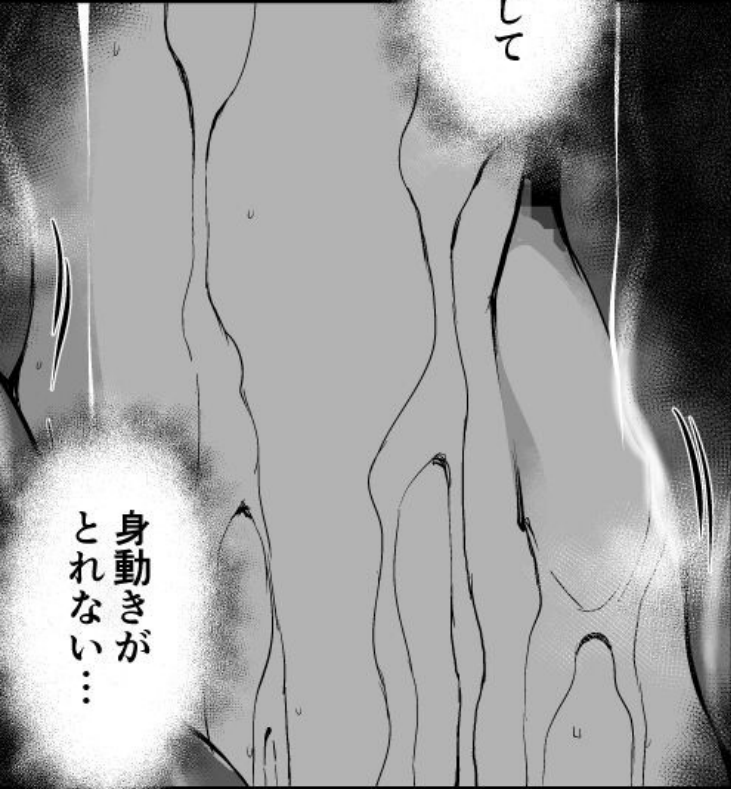
カク

ダメだ：
やめ：

クク



狭くて
ヌメヌメして
いて



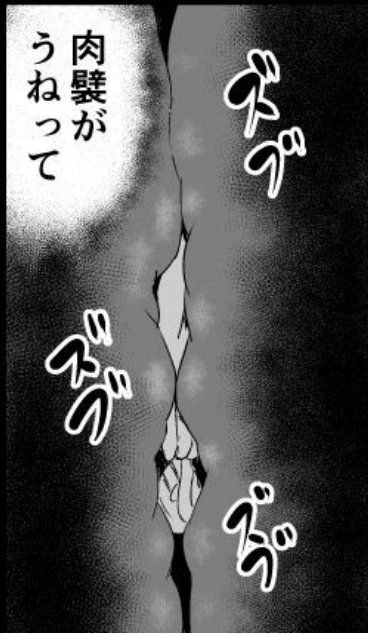
身動きが
とれない…



私の身体を
奥へ奥へと呑み
込んでいく

はあ

はあ



肉壁が
うねって

ぷる

ぷる

ぷる



んッ
んん…
ヌメ
ヌメ

こゝは…

あいつの
胎内か？

はあ…

はあ…

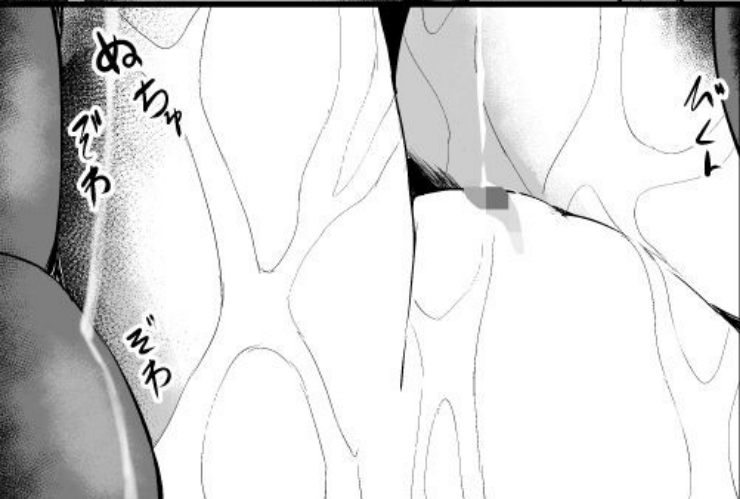
喰われた
のか私は…

このままだと
まずい…

はあ

はあ

どうにかして
ここから脱出
しなくては



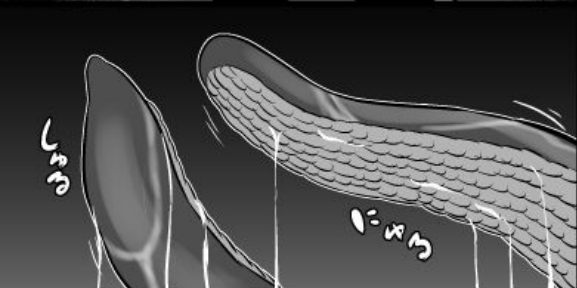
なんだ
身体が…

はッ

粘液が
滴るだけで
感じてしまう

はッ

この粘液…
ただの消化液じゃ
ないのか？





触手に粘液を
身体中に塗り
込まれて

身体が
どんどん敏感に



何を
する
気だ

やめ……

あッ

はッ

あッ



あッ

んんッ



舐めるな

この程度の
責め苦など



魔力たっぷり淫液の
触手マッサージの
お味は

んッ



あッ

ふふふ
どうですか
お姉さま

!!

それじゃあ
次は

その可愛さ
おまんこの中で

魔力を直接
注ぎ込んで
差し上げますわ

ブルッ

いやッ
待ってッ

んおおお

やめッ

ニキ

ニキ

どうですか
お姉さま

触手でおまんこ
じゅわんじゅわんおさわ
気持ち良さそうよ

このおまんこ
お姉さまの
ドスケス
おまんこの中を

触手ザーメン
たっぷり中出し
してあげますわ

やめ…ッ
膣内は…

私の膣内に
触手チンポの
ザーメン
出されてるッ

おおああッ

出されてる…



身体が熱い…

触手ザーメンが
私の膈内を
満たしていく

何…
お腹の下から
何かが…

何かが…
来る…

この
感覚は

まさか…

待ってッ

いやッ
いやッ

いやあああッ

あはははは

おまんこに
注がれた魔力に
反応して

触手でおまんこ
突く度にビクビク
跳ねちゃって

おもしろい

感じてなど…

いな…んはッ

立派な
おちんちんが
生えて来ましたよ

うそだ…
こんなの…
こんなの…

ひょっとして
侵されて感じ
ちゃってるん
ですか？

嘘は
だーめ

ッああ

もっともっと
魔力を注ぎ
込んで

おチンポに
逆らえない

ドスケベな
身体にして
あげる

はッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

膈内に魔力を注がれる度に

快樂が私を呑み込んでいく…

このままだと私は本当に…

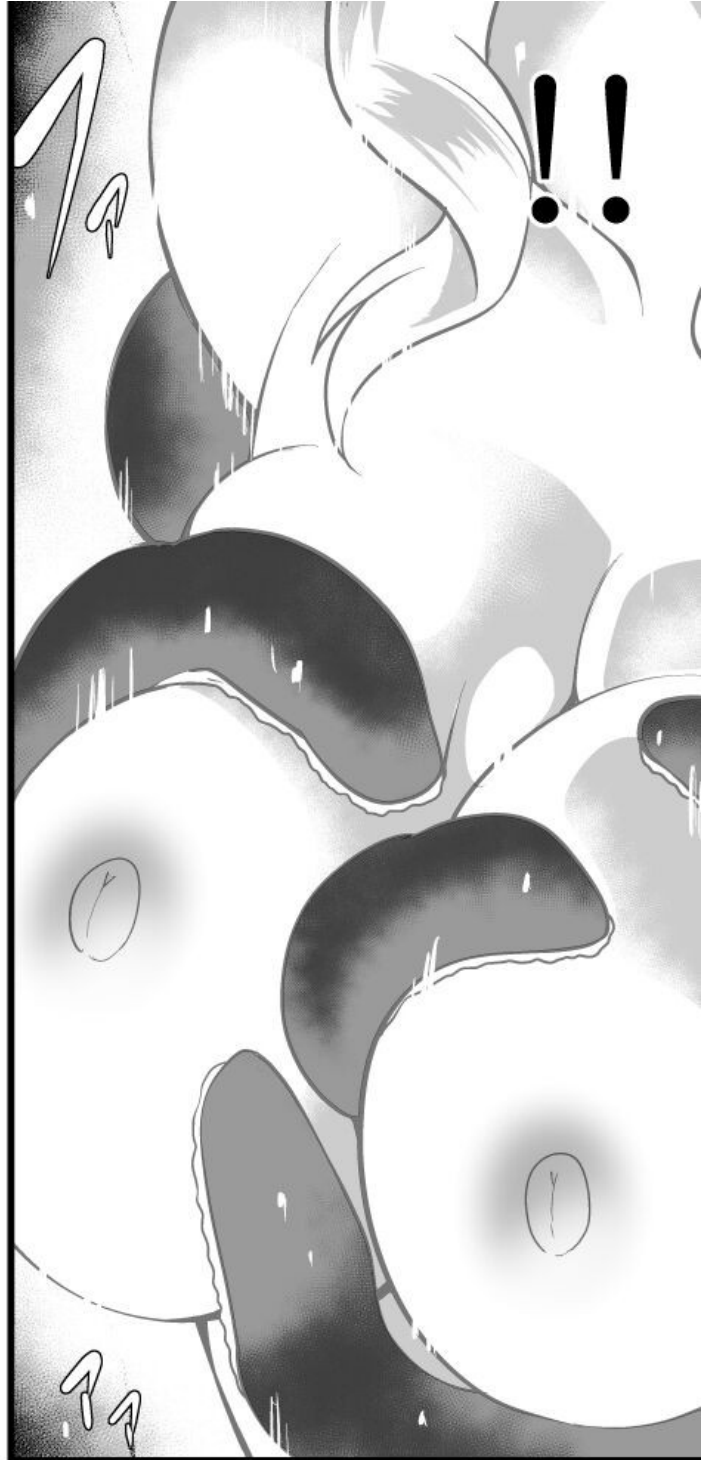
ダメだ…

呑み込まれてたまるか



体内で光の魔力を
生成して闇の魔力を
中和すれば

魔力の浸蝕を
抑えられるはず



今は耐えて
抜け出す
きっかけを…

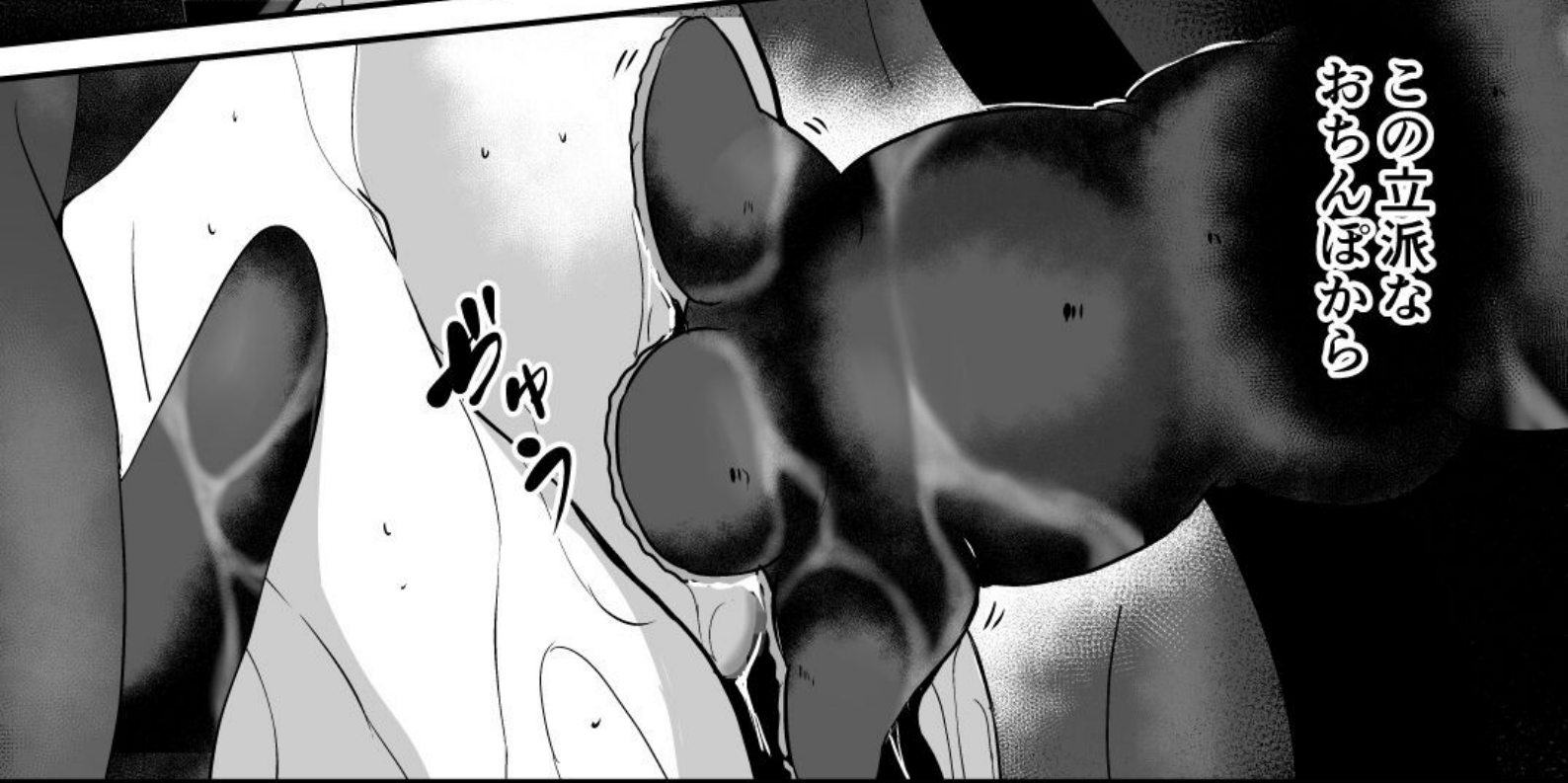
まだ抵抗する
つもり
なんですかあ

それじゃあ



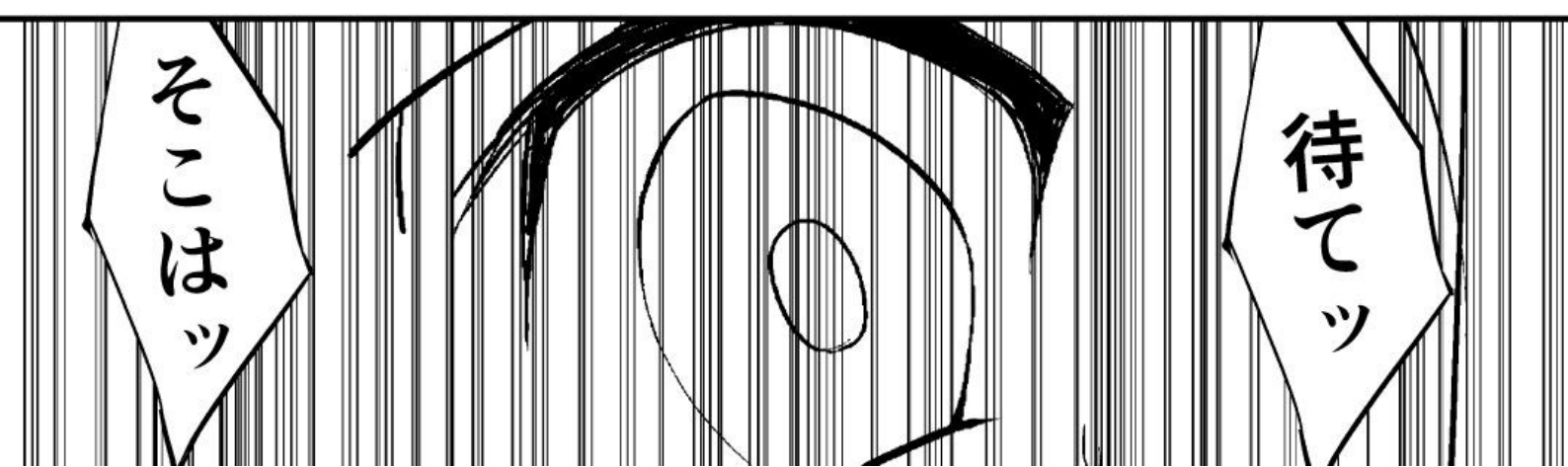
ひあッ

生成した魔力も
根こそぎしゃぶり
尽くしちゃい
ましよう



この立派な
おちんぽから

ガッ



待てッ

そこはッ



おちんぽ

おちんぽ
出りゅ

おちんぽから
ザーメン出りゅー



おちんぽ

おちんぽ

おちんぽ

ダメッ

そんなに
強く



おちんぽ

おちんぽ

あはは
ははッ

お姉さまのチンポ
ザーメンとっつても
おいしらすわ

もっともっと
お姉さまの
濃厚ザーメン
しゃぶらせて

ダメッ
同時におまんこと
おちんぼされて

魔力生成に
集中できない



私は絶対…

魔族には
負けない

ああ♡
ああ♡

素敵素敵
素敵ッ

悔しそうなの
その口び

今にも
泣き出しそうなの
子供の様な顔

もっと
感じて

もっと
聞かせて

屈辱と
快樂で悶えて

イキ
たくない

イキ
たくない

イキ
たくない

嬌声を
響かせる

墮ちる

墮ちる
墮ちる

快樂に
吞まれて

盛大に
イキはてる

いや...

いや...

いや...





ふふふ

随分と
おとなしく
なりましたね

あ……

あ……

でも

まだまだ
です

その瞳から
光が消えて

完全に闇に
堕ちるまで

グッ
グッ

グッ
グッ

徹底的に

侵して尽くして
あげますわ



